

街look田原

街あるつく田原
令和8年2月1日(日)

第68号

冬の夜空を彩る

イルミネーション 点灯式

●カウントダウン点灯

秋空が広がる11月1日(土)午後3時から、中央広場(田原萱町交差点北東角)にてイルミネーション点灯式が開催されました。

クリスマスライブのほか、先着500名の皆様に光るプレスレットのプレゼント、幸せの四つ葉プレートに願い事を書いてメインツリーに飾る企画も同時開催。また、今年も愛知県立成章高等学校の皆さんによる着ぐるみも登場し、サンタさんへの手紙持参の先着200名のお子さん(小学生以下)にお菓子のプレゼントなど、会場を盛り上げました。

柴田実行委員長による開演の挨拶があり、クリスマスライブがスタート!



最初は第一保育園・中部保育園の園児の皆さんによる『いいじゃん! 田原』を踊りと合唱で盛り上げました。続いて、フリコノコ、柳田知可(ハルカトシツキ)、ラストロットの演奏と歌声が会場に響き、温かな拍手に包まれました。そして陽が落ち、10秒前から全員でカウントダウンを行い17時30分、クリスマスツリーに色鮮やかな電飾が点灯。会場は「わ、きれー!」という声と拍手で沸きました。18時まで演奏は行われ、歓声の余韻に浸る姿が多く見られました。この他、セントファールセンターコートにツリー、中央広場から三河田原駅までの街路樹にはイルミネーションが彩られ、1月12日まで毎日点灯されました。



(まちなか賑わいづくり実行委員会主催)

渥美半島 菜の花まつり

1月17日(土) → 3月31日(火)

「伊良湖菜の花ガーデン」入場料

大人500円 / 小人100円 / パスポート1000円
高校生以上 小・中学生 期間中いつでもご入場可能

9:00~17:00 期間中無休

会場＝伊良湖菜の花ガーデン 会場へのカーナビ案内は→住所で  愛知県田原市堀切町浜藪

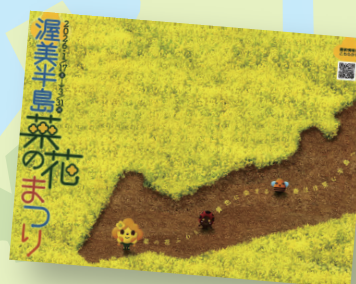


1月17日から「渥美半島菜の花まつり」が始まりました。半島全体が菜の花畑と言われるとおり、1月中旬から場所によって「みごろ」が少しずつ違い3月にかけて楽しめます。メイン会場の菜の花ガーデンではイベントやグルメが楽しめるお店の出店も楽しみの一つ。また、近隣の飲食店では趣向を凝らした季節の料理がお目見え。半島が菜の花で黄色に染まるこの時期を満喫しましょう！

チラシにあるクーポンを対象店舗に提示すると、お得な特典が受けられます。



各店舗の料理



開花情報など発信しています！



渥美半島観光ビューローHP

菜の花ガーデン



2/8日 菜の花まつりいきいきフェス2026
 2/21(土)~23日・祝 渥美半島物産・産直
 3/28(土)・29日 菜の花deコンサート
 2/14(土)・3/14(土) 菜の花バレンタインデー・ホワイトデー

天候により開花が左右します。ご了承ください。

2/7(土) JRさわやかウォーキング

渥美半島どんぶり街道と一面に広がる菜の花畑を目指して



2月7日(土)に豊橋鉄道主催の「JRさわやかウォーキング」が開催されます。スタート・ゴール地点となる三河田原駅前では、菜の花ピアノ演奏でお出迎えし、今年は甘酒や焼きいものふるまいも予定しています。「どんぶり街道」と「加治の菜の花畑」を目指して、食べて見て楽しめる約9.3kmのコース。今年も盛り上げていきましょう！

ハッピーハロウィン

まちなか

ハロウィンウォーク



秋の小雨が降ったり止んだりした10月26日(日)、三河田原駅前ラグランにて「まちなかハロウィンウォーク&クレープフェスタ」が開催されました。毎年恒例のイベントで、開始11時から仮装した子ども連れの親子の行列ができました。参加対象は仮装した小学生以下のお子さんで、合言葉「トリックオアトリート」を告げることが条件。先着500名にスタンプカードとお菓子を、そしてこの日は数量限定で染め菊も配布されました。ラグランの他に、田原まつり会館とセントファールでスタンプとお菓子をゲット、最終ポイントの同時開催「田原市民まつり」会場にて景品の交換。親子でゆつくり歩きながらウォークラリーを楽しみました。「雨が止んだつちに急いで行きます」や「クレープ食べてから行きます」という声が聞かれました。またクレープフェスタは10時から始まり、三河で人気のクレープ屋8店が集結。「マッソの知らない世界」に出演したお店や生クリームが特徴のクレープ、米粉100%のクレープなどもあり、食べ比べする親子の姿も多く見られました。



染め菊体験&アレンジ教室



ラグラン内のe-spaceにて、白い輪菊が鮮やかに染まるアート体験&フラワーアレンジメント教室も開催されました。



街なかの元気印、発見！

MACHICCO File.63

地元の住宅リフォーム専門店として 時代に沿ったリフォームと中心市街地の再生へ

ベッショ ゲンタロウ
株式会社ハロー 代表取締役 **別所 源太郎さん**

別所源太郎さんの生い立ち

株式会社ハローは田原市田原町汐見で住宅リフォームと燃料販売をしている会社です。代表取締役別所源太郎さんは旧田原町で生まれ、地元の高校を卒業するまでここで過ごしました。大学は関西の国立大学経済学部に進学され、卒業後は東京の企業に就職し5年間経理の仕事に従事しま



住 田原市田原町汐見34
電 0531-23-3100
FAX 0531-23-3103
営 8:00~17:00
休 日曜・祝日
P 10台
HP <https://www.reform-hallo.jp>



した。27歳の時に田原に戻って来て家業も手伝いながら豊橋市にあるハウスメーカーで1年間修業をされました。



家業に入り真っ先にしたこと

別所さんの父親が住宅リフォームの仕事を創業したのは、平成元年。景気も良くバブリーな時代で業績も右肩上がりでしたが、1990年代後半からは日本全体の景気も落ち込み人口減少も

重なり厳しい時代になっていきました。そこで、まず会社を認知してもらうことに重点を置き、新聞折り込みチラシを活用し広告PRを積極的に行いました。それに合わせ店舗の改装や新しい広告媒体のウェブにも力を入れたことで業績も持ち直しました。

お客様が望むリフォーム提案

お客様からリフォームの依頼が来たら、まず、お客様家族の皆様からじっくりお話を聞くことを心掛けています。今後住まわれるのがどなたで、主に家におられるのは奥様なのかとか、しっかりリサーチすることで最善なリフォームが提供できると考えるからです。



今後考えていること

全国や田原市でも空き家の増

加が深刻な課題で、その背景は様々。一人暮らしの高齢者が施設に入居したケース、両親が亡くなり相続人が住む予定のないケースなど、状況を丁寧把握しなければ、適切な対策をすることはできません。空き家は放置すると老朽化が進み、倒壊リスクや景観の悪化、防犯上の問題など地域に大きな影響を及ぼしかねません。しかし、空き家をリノベーションし、新たな商業施設やコミュニティスペースとして活用することで地域活性化の可能性もあります。田原市の中心市街地の再生に向け取り組みたいと考えています。

たはら国際交流協会での活動

別所さんは、たはら国際交流協会の活動にも携わっています。田原市には技能実習生を中心に2400人以上の外国籍の方が住んでおられ、会では年1回の外国人によるスピーチコンテストや週2回開催の日本語教室で外国の方たちとコミュニケーションを図っています。皆様の近くにも外国の方々がみえると思いますので、積極的に交流していただくと良いと思います。